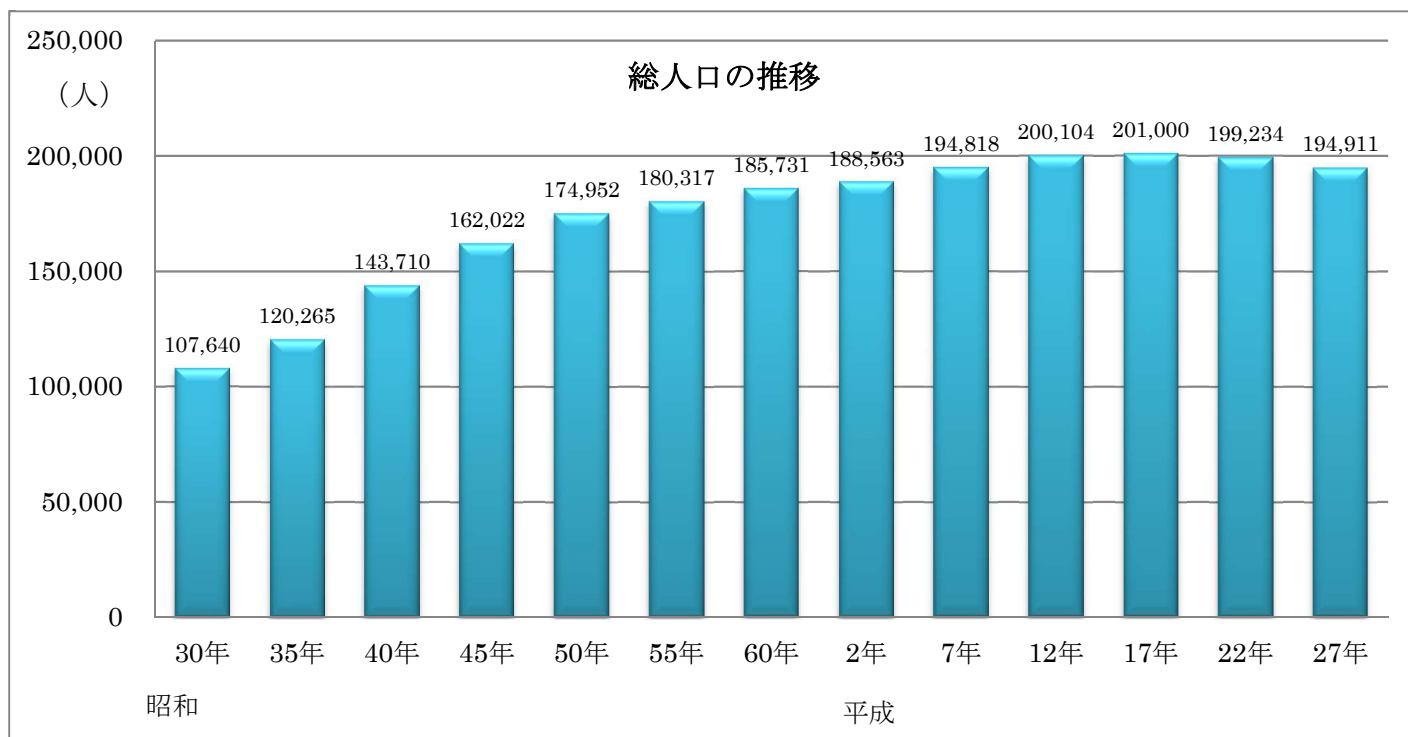


【岸和田市の人口動態】

(1) 総人口の推移

本市の人口は、昭和 30 年代の高度成長期から急激に増加し、その後、その傾向は緩やかになるものの増加を続け、平成 17 年には 201,000 人に達しました。

しかし、その後人口は減少に転じ、平成 22 年には 199,234 人、平成 27 年には 194,911 人と、20 万人の大台を割り込んでいます。



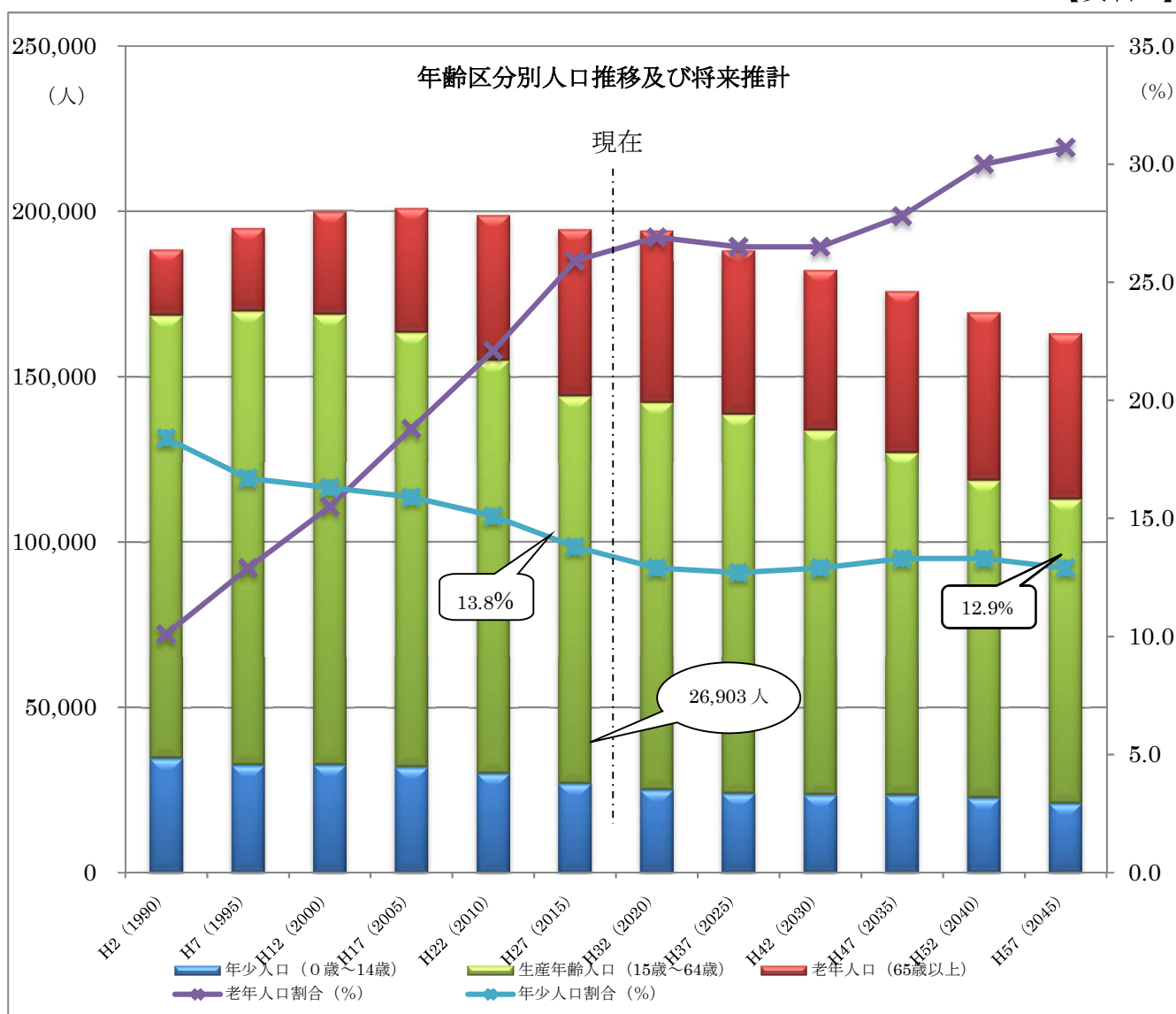
(国勢調査より)

(2) 年齢区分別人口の推移及び将来推計

年齢区分別の推移を見ると、年少人口は既に減少局面にあり、平成 27 年は 26,903 人となっています。将来推計においても、この傾向が継続し、平成 27 年から平成 57 年までの 30 年間で約 6,000 人減少 (▲22%) する見込みとなっています。

年少人口割合についても平成 27 年の 13.8%から平成 57 年には 12.9%となり、全体人口に対する年少人口の割合がさらに減少する見込みです。一方老年人口割合は一貫して増加傾向にあり、平成 57 年には 30.7%になる見込みです。

	H2 (1990)	H7 (1995)	H12 (2000)	H17 (2005)	H22 (2010)	H27 (2015)	H32 (2020)	H37 (2025)	H42 (2030)	H47 (2035)	H52 (2040)	H57 (2045)
年少人口 (0歳～14歳)	34,596	32,478	32,579	31,917	30,004	26,903	25,084	23,965	23,526	23,415	22,550	20,982
老年人口 (65歳以上)	19,895	25,119	31,038	37,691	43,834	50,357	52,156	49,807	48,516	48,883	50,812	50,091
生産年齢人口 (15歳～64歳)	133,826	137,157	136,022	131,273	124,918	117,058	116,795	114,438	110,017	103,400	95,860	91,829
老年人口割 (%)	10.1	12.9	15.5	18.8	22.1	25.9	26.9	26.5	26.5	27.8	30.0	30.7
年少人口割 (%)	18.4	16.7	16.3	15.9	15.1	13.8	12.9	12.7	12.9	13.3	13.3	12.9



(平成 27 年までは国勢調査、平成 32 年以降はコーホート要因法による人口推計)

※コーホート要因法：住民基本台帳による人口を基に、出生数・死亡数・転入数・転出数・転居数の各々の平均値を、小学校区ごとに、年齢別、性別で算出し、その値を現在の人口に加算して、将来推計値を算出したもの。